

県民応援NPOプロジェクト 寄付金募集



寄付金募集期間：2025年7月1日(火)～2026年3月20日(金)

2025年度の県民応援NPOプロジェクト採択団体が決まりました。
地域の課題に取り組む3団体を応援ください。各プロジェクトへの参加、寄付にご協力ください。

「格闘技道場」居場所づくりプロジェクト

格闘技教室スマイルジム/四日市市



主な活動

- 「格闘技」を通して人に触れあい、優しさ、温かさに気づき、言葉に頼らないコミュニケーションによって共生、共存する居場所をつくります。
- 子どもや若者の学習や食の支援を行い、安心できる場所をつくります。
- 外国籍の子ども・若者、様々な課題を抱えた子ども・若者が孤独に陥らず、その人らしく過ごすことのできる時間・場所をつくります。

代表 菱田慶文さん

家に誰もいなくてさみしい。学校でいじめにあつてつらい。悩みがあって大人に聞いてもらいたい。格闘技教室スマイルジムは、こどものSOSをキャッチする場所です。ジムにきて話しましょう。サンドバックを叩きましょう。



活動の様子



医療的ケア者の「広がるアート・デザイン事業」

NPO法人TEAM創心/松阪市



主な活動

- 高校を卒業した医療的ケア者の、体験機会を増やす取り組みをとして感性で表現するアート創作を行います。限られた動作のなかで親指と人差し指のわずかな力でペンを持ち描きます。
- 描いたアートをカードゲームに取り入れ、商品化し販路拡大をします。「ご当地フロント」に参加して商品パッケージ作りを行います。
- 商品づくりを通して医療的ケア者の社会参加を実現します。

代表理事 小山隆幸さん

デザインを医療的ケアが必要な人たちに作っていただきます。手首や指先のわずかな力を使って行います。色や模様は一人ひとりの感性を大事にしています。わずかな力だけど自分を表現する一つになります。商品を通して、医療的ケアの人たちが社会とつながる機会にもなります。ぜひ一緒に取り組みましょう。



活動の様子



まぜこぜまちラボ～凸凹から新たなつながりを

NPO法人よすが/桑名市



主な活動

- 誰にでもある発達や感覚の“ちがひ”=凸凹は、生きづらさにつながることもあります。でも、それはまちを面白くする力にもなる。“ちがひ”を弱さや課題ではなく、多様性として捉え、子どもも大人も学び合い、支えあう地域を育てます。
- サロンやWS、講演会、寄付つき商品などを通じ、地域のあちこちに対話のきっかけをつくり、まぜこぜのまちと一緒に考えていきます。精神保健福祉の実践での気づきが、この取組の出発点です。

理事長 野田盛二さん

高齢者や単身者への“地域お助け隊”は、笑顔の支えあいにつながっています。まだまだ、地域から孤立している方々も多く、制度だけでは届きにくい多様な地域課題にどう取り組むか。子どもから大人、立場の垣根を越えて、どなたでも一緒に考える仲間を探しています。



活動の様子

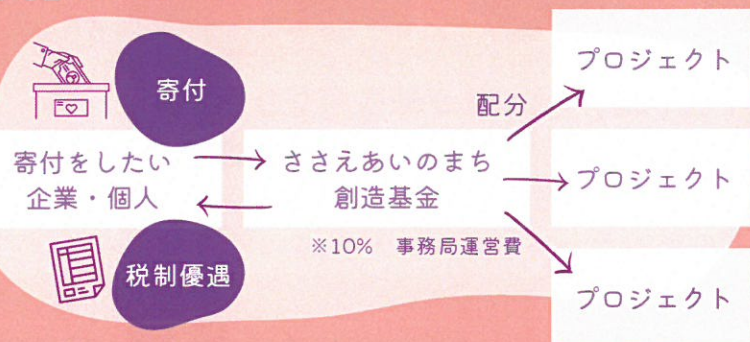


県民応援NPOプロジェクトのしくみ

誰一人とり残したくない...。県民応援NPOプロジェクトは、社会課題解決に取り組む市民活動・NPO等を応援するしくみです。三重に暮らす人々の共感、参加を大切にします。具体的には、東海ろうきんのスタートアップ資金の提供（1団体100万円）、みえ市民活動ボランティアセンターの伴走支援、県民の皆さまへの寄付金募集を行います。



寄付のしくみ



いただいた寄付金は、ささえあいのまち創造基金の審査委員会において寄付申込者の意向を参考に審査を行い、2025年12月と2026年3月の計2回、3プロジェクトに配分します。なお、寄付総額の10%はささえあいのまち創造基金及びみえ市民活動ボランティアセンターによるプロジェクトの支援の費用として使用します。

< 税制優遇 >

公益財団法人ささえあいのまち創造基金が発行する領収書は、翌年の確定申告において寄付金控除に使うことができ、所得税や法人税などが還付される場合があります。

ささえあいのまち創造基金

公益財団法人ささえあいのまち創造基金は、民間団体が自発的に行う社会課題解決や地域の活性化等の公益活動を社会を構成するすべての主体が資金等の提供によって支えるしくみを構築することを通じて、持続可能なまちづくりと相互に支え合う文化の創造を目的とする市民財団です。市民の寄付を基本財産として、2012年に一般財団法人として立ち上げ、2014年に公益財団法人へ移行しました。

公益財団法人ささえあいのまち創造基金 代表理事 岩崎 恭典

今回、東海労働金庫様からのご厚志を得たことを契機として県内の団体に広く呼び掛け、その活動支援を行うことになりました。8団体が応募され、書類審査・公開審査を経て、ここに紹介されている3団体に各100万円の交付が決められました。

寄付方法

下記銀行へのお振込をお願いいたします。

期 間	2025年7月1日(火)～2026年3月20日(金)		
口座名	公益財団法人ささえあいのまち創造基金		
口 座	三十三銀行 本店営業部	(普通)	1 8 5 1 2 1 0
	百五銀行 生桑支店あかつき台出張所	(普通)	2 5 9 5 9 1
	東海労働金庫 四日市支店	(普通)	5 0 5 5 7 2

※東海労働金庫の本支店から東海労働金庫の口座へ振込する場合、手数料はかかりません。その他口座をご利用で手数料がかかる場合は寄付者様でご負担ください。

それぞれの団体の活動は、現在県民が当面する課題を解決していくとする意欲的な取組です。今後、本財団と共に「みえ市民活動ボランティアセンター」のスタッフが伴走支援を行い、さらに提案の実現を目指していきます。

その際、団体の自立性・継続性を高めるためには、なお一層の財政的支援が必要になります。この3団体を魁として、三重の社会課題解決に向けての「民」の取組が一層活発になるよう、本財団へのご寄付をよろしくお願い申し上げます。



これまでの流れ

3月～5月
事前相談
応募期間

5・6月
書類審査
公開審査

2025年6月～2026年2月
3プロジェクト開始
県民参加・伴走支援



公開審査会の様子



採択団体の皆さん

< 寄付に関するお問合せ > 公益財団法人ささえあいのまち創造基金事務局

ささえあいのまち創造基金

〒510-0086 四日市市諏訪栄町3-4

☎ 059-352-0010

☎ 059-359-7281

✉ info@mie-ssb.jp

県民応援NPOプロジェクト 主催 みえ市民活動ボランティアセンター 協賛 東海労働金庫